



一般社団法人日本精神科看護協会 会長に就任して

一般社団法人日本精神科看護協会 会長 吉川 隆博

公益社団法人日本精神保健福祉連盟および関係機関の皆様には、常日頃より大変お世話になっております。私は、今年度より末安民生前会長から引き継ぎ会長を拝命いたしました。今後とも関係者の皆様のご指導ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、一般社団法人日本精神科看護協会（日精看）は、主に精神保健医療に従事する看護職の団体になります。会員構成としましては、精神科病院で勤務する看護職が最も多く占めていますが、近年では訪問看護ステーション、精神科診療所など、地域精神医療に従事する看護者の割合も増えてきています。このことから精神科看護者が活躍する場が、病院から地域への広がりを見せていることがわかります。地域で活躍する看護者が増えることは、病院と地域をつなぐ看護者の役割強化につながると考えています。

精神保健医療福祉施策として、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが行われているところですが、本協会としても学術集会や研修事業等を通じて、精神障害のある人も、ない人も安心して暮らすことができる、共生社会の実現に向けた理解の深化と、全国での取り組みの共有を図っているところです。精神科病院で勤務する看護者は、これまで入院看護を強みとしてきましたが、これからは退院後の生活を見据えた支援、生活者としての個別性への対応、多様なニーズに対応できる力が求められます。そこで、看護の視野と支援の幅を広げていくことができるような内容を充実させたいと考えます。また児童思春期の精神保健課題や依存症対策などへの対応と、障害者スポーツの振興についても、看護者や日精看の立場でできることを推進していきたいと考えています。

これまでも日精看では「こころの健康を通して、誰もが安心して暮らすことができる社会をつくります」という協会理念に基づき、全国の都道府県

支部と力を合わせた活動を展開してきています。1988（昭和63）年7月1日の精神保健法の施行日にちなんで、1998（平成10）年より7月1日を「こころの日」と位置づけました。そこで各都道府県支部では「こころの日」の活動として、精神疾患や精神障がい者に対する正しい理解を図るとともに、こころの健康の大切さを考えていただくための活動を行っています。活動が始まり20年が過ぎましたが、各都道府県支部では、一般市民を対象とした講演会をはじめ、ショッピングセンターなど人通りが多い場所での、こころの健康に関する情報提供や記念品の配布、こころの健康相談コーナーなど様々な活動を展開しています。また、2009（平成21）年より精神保健医療に従事する看護者を、学校、企業、公民館等に派遣する「こころの健康出前講座」を行っています。出前講座のテーマは、依頼者の要望に応じて講演会やセミナー形式で開催しています。出前講座の講師としては、全国の精神科認定看護師が多く活躍をしているところです。

今後も日精看は、精神保健医療に従事する看護者の強みと、全国都道府県支部のネットワークを活かした活動の創設と実践に、さらに取り組んでいきたいと考えています。今年度からは、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに、看護者がどのように貢献できるのか、地域の様々な年代・立場の人々と意見交換を行ったり、一緒に考えたりする取り組みを開始しました。共生社会の実現に向けて、看護者がまちづくりのサポーターや、地域住民と精神保健医療とのつなぎ役になれるよう、新たな取り組みにチャレンジすることから始めていきます。ただし、そのような取り組みは看護者だけでできるとは思いません。

日本精神保健福祉連盟をはじめ、関係団体・職種の皆様のご支援やご指導を賜りながら、私どももさらに勉強と経験を積み重ねてまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

こころの日のイベント開催

テーマ:こころひとつおおきな和

一般社団法人日本精神科看護協会 沖縄県支部 支部長 **内山 あけみ**

こころの日は、当協会の社会貢献活動として、精神保健法の施行日（昭和63年7月1日）にちなみ、平成10年より7月1日を「こころの日」と位置づけ、都道府県支部の精神科看護の（プロ）が実施している活動です。目的は、こころの病やこころの健康の大切さについて、正しい知識や情報を発信することで、理解を図り安心してご相談いただける環境を提供し、住みやすい社会づくりを目指すことです。

私たち沖縄県支部では、こころの日のイベントのテーマを、『こころひとつおおきな和』としました。私たちのこの小さな活動が、波紋のように、小さな和が広がり、だんだんおおきくなって穏やかな和となり、誰もが住みやすい沖縄県になれることを願い、繋がることをコンセプトにイベントを開催しました。さらに、多くの方々に理解していただくために、精神保健福祉に関連する諸団体や会場所在地の役場へこころの日の周知と後援依頼を行いました。

イベントは、2部構成とし、1部に、宜野湾市地域活動支援センターはぴわんのメンバー4名と、沖縄県支部支部長によるトーク、“でーじ・チャーころびー・Café”（FMぎのわんラジオ番組の公開収録）、そして、玉木病院（精神科）の看護師、久場邦夫様によるマジックショー。

2部では、『琉球ポップスemikutu（エミクトゥ）』2012年結成。高良篤人・金子えみ（夫婦デュオ）をお招きし癒しのコンサートを行いました。こころの健康相談では、運営委員および精神科認定看護師による健康相談コーナーを設け、こころの健康チェック、うつ病チェック、アルコールチェックを実施しました。



ラジオ収録では、はぴわんのメンバーさんと一緒に出演し、トークの中では「幻聴の言うとおりに、シャンプーを飲んだら、メリットシャンプーなのにデメリットだった」などと、自らの経験にユーモアを交えて語ってくれました。

私は看護師の立場でゲスト出演させていただきましたが、共に語り合える貴重な時間を共有できたことは、精神科看護者として深い学びと大きな刺激を受けました。



久場さんは、精神科看護師からマジシャンに変身、鮮やかなマジックで会場を和ませてくれました。「精神疾患の理解を図る活動に役立てたことに感謝です」と話していました。

癒しのコンサートでは、澄んだ歌声と馴染みの音楽に会場のお客様も役員も癒されました。終演後は余韻に浸りつつ、皆が幸せな気持ちになっていましたが、高良さんから、「僕も当事者です。精神科での治療を受けています」という発言があり、自分らしく活動している姿が、会場に向けた力強いメッセージとなり、私たちも感無量でイベントを終えることができました。



7月1日はこころの日

こころの日



徳島県精神保健福祉センターの動き

動き

movement

徳島県精神保健福祉センター 所長 石元 康仁

当センターは、昭和28年12月に徳島保健所の庁舎内に精神衛生相談所が設置されたことに始まり、昭和40年精神衛生センターとなった時に敷地内に専用庁舎が建てられました。平成9年8月老朽化に伴いに現在の庁舎が新築され、再び徳島保健所と同じ庁舎となりました。昭和48年に幸田文一先生が初めて専任所長として着任され、長きにわたり本県の精神保健福祉行政に貢献されました。

私は、先生が定年退官された後、平成18年4月徳島大学病院より赴任致しました。統合失調症の精神科デイケアを思春期のデイケアに変更し、平成22年4月よりは「ひきこもり地域支援センター」としました。最近、ひきこもりの集団活動の参加者が高齢化して、若い方が少ない状況でしたので、昨年度よりは30歳未満を別グループとする試みをしています。訪問支援が手薄なことから、社会福祉協議会等との連携を強めています。今年度には、民生委員を通じて、ひきこもりの実態調査を行います。

平成22年3月に、「とくしま自殺予防センター」

を新設し、「徳島県自殺者ゼロ作戦」を展開しています。昨年度より、自殺未遂者・ハイリスク者実務者研修として、徳島保健所と生活保護担当者にミニ講義と事例検討を始めてみました。昨年の本県の自殺死亡率が全国最少となったことは、大きな励みとなっています。徳島保健所とは同一庁舎なので、連携良く事業が行え、気軽に措置鑑定も頼まれる環境です。

昨年6月には、「とくしま依存症相談拠点」が設置されました。センター内で、DARCの支援会をしていますので、DARC、専門医、保護観察所、弁護士等とざっくばらんな事例検討にもなっています。断酒会員には、月2回センターの相談員を担当してもらっています。

正規職員7名、臨時非常勤も含めても10名のこじんまりしたセンターなので、直接支援より支援者の相談を中心に、多くの関係者に助けて頂いています。今後も、誰もが住みよい徳島になるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



秋田県精神保健福祉センターの動き

動き

movement

秋田県精神保健福祉センター 所長 清水 徹男

秋田県精神保健福祉センターは、JR秋田駅から徒歩5分、千秋公園にほど近いお洒落なショッピング街の一角にあります。7階建てのビルの1階部分に福祉相談センターと同居しています。3階より上は県立高校（定時制、通信制）になっています。2階にはパブリック・スペースがあり、その会議室や講堂は、当センターもよく利用させてもらっています。平成20年に大仙市の秋田県立リハビリテーション・精神医療センター内から現在地に移ってまいりました。常勤職員はたった7名（精神科医1、臨床心理士2、保健師3、事務1）という全国でも有数(?)の小規模なものです。

平成25年にひきこもり相談支援センター業務を開始し、3名のコーディネーター（非常勤）とともに業務に当たっています。当事者の会である「青年グループ」と家族会である「にじの会」を運営し、息の長い継続支援を行っています。また、社会とのつながり支援（職親）事業に登録いた

いた事業所の中から、当事者みずからが興味や適性に合うものを見学した上で選び、非常に柔軟なスケジュールで模擬的に就労するというプログラムを提供しています。また、ひきこもり支援にあたる県内関係機関とのネットワーク作りと、支援者に対する支援、人材育成にも積極的に取り組んでいます。

相談業務の中で最近目立って増えているのはキャンセル依存の当事者・家族からのものです。アルコール依存も軽症化が目立ち、当事者自らが相談に見えることが増えてきました。このような現状にちなみ、主に依存症の当事者・家族支援について当センターと保健所で精神保健業務に携わる保健師との連携を深めていくことを企画中です。今年度は秋田県版の「依存症回復支援プログラム」の開発、支援者向けガイドブックの作成を行い、保健所に出向いて「出前事例検討会」を開催予定です。

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟 加盟団体(社員名簿)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-14 日精協会館内

会長 鮫 島 健 TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309

理事長 鹿 島 晴 雄

令和元年7月現在

| 種類 | 名 称 | 所 在 地 | TEL/FAX | 代表者 |
|-------------|-------------------|--|------------------------------|--------------|
| 公 益 財団法人 | 日本精神衛生会 | 〒162-0851 東京都新宿区弁天町91 神経研究所内 | 03-3269-6932 03-3269-6932 | 理事長 小島 卓也 |
| 公 益 社団法人 | 日本精神科病院協会 | 〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14 | 03-5232-3311 03-5232-3309 | 会長 山崎 學 |
| 公 益 財団法人 | 復光会 | 〒273-8540 千葉県船橋市市場3-3-1 | 047-422-3509 047-423-0432 | 理事長 松本 雄策 |
| 公 益 財団法人 | 矯正協会 | 〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2 | 03-3319-0640 03-3319-0643 | 会長 藤本 哲也 |
| 一 般 社団法人 | 全国精神保健福祉連 絡協議会 | 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学グリーンケア研究所内 | 03-3238-3776 03-3238-4661 | 会長 竹島 正 |
| 公 益 社団法人 | 全日本断酒連盟 | 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 エスコート神田岩本町101号 | 03-3863-1600 03-3863-1691 | 理事長 伊藤 聰 |
| 一 般 社団法人 | 日本精神科看護協会 | 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7階 | 03-5796-7033 03-5796-7034 | 会長 吉川 隆博 |
| 公 益 社団法人 | アルコール健康医学 協会 | 〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-13 グラン、フォークスV本郷ビル4階 | 03-5802-8761 03-5802-8763 | 理事長 田中 慶司 |
| 公 益 社団法人 | 日本精神神経科診療 所協会 | 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビル701 | 03-3320-1423 03-3320-1426 | 会長 三木 和平 |
| 公 益 社団法人 | 日本精神保健福祉士 協会 | 〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F | 03-5366-3152 03-5366-2993 | 会長 柏木 一恵 |
| | 全国手をつなぐ育成 会連合会 | 〒520-0044 滋賀県大津市京町4-3-28 滋賀県厚生会館内 公益社団法人 滋賀県手をつなぐ育成会事務局内 | 077-572-9894 077-572-9894 | 会長 久保 厚子 |

〈編集後記〉

連盟だよりNo.66をお届けします。

今回は、新たに(一社)日本精神科看護協会会長に就任された吉川隆博先生から、ご玉稿をいただきました。日精看のより地域に根差した活動や課題について触れられ、今後の決意をご開示いただきました。改めて御礼申しあげます。

また、同じ日精看の沖縄支部より、こころの日のイベント「こころひとつおおきな和」のご報告をいただきました。有難うございます。

秋は精神保健福祉全国大会、全国障害者スポーツ大会など、連盟として大切な行事が目白押しです。引き続き関係団体の方々のご理解・ご協力をお願いする次第です。(M. O.)

編集委員会

委員長 大西 守 公益社団法人日本精神保健福祉連盟常務理事

委員 高畑 隆 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会理事

窪田 澄夫 一般社団法人日本精神科看護協会業務執行理事

発行 2019年10月1日

発行者 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

会長 鮫 島 健

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-14

TEL 03-5232-3308 FAX 03-5232-3309

Email : f-renmei@nisseikyo.or.jp

HP : <http://www.f-renmei.or.jp>